

医療・介護従事者の皆さん、 HIV・エイズについて正しく知ってください！

HIV・エイズとは

HIVとは、ヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus）のことです。

HIVは、免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球（CD4細胞）という白血球などに感染し、からだを病気から守っている免疫力を低下させていきます。その後、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続き、本来なら自分の力で抑えることのできる病気を発症するようになります。免疫力が落ちることで発症する疾患のうち、代表的な23の疾患を発症すると、エイズ（後天性免疫不全症候群、AIDS：Acquired Immuno-Deficiency Syndrome）を発症したと診断されます。

簡単にはうつりません！

HIVは、主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれます。

HIVの感染力は弱く、**性行為以外の社会生活のなかでうつることはまずありません。**

確認してみましょう！



感染イコール「死」ではありません！

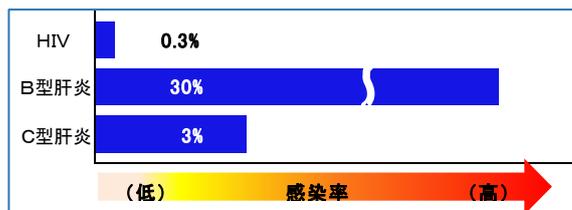
現在、HIVを体内から完全に排除する治療法はありませんが、エイズを発症する前にHIV感染を知り、適切な治療を受ける（抗HIV薬を服薬）ことでエイズの発症を予防したり、遅らせたたりすることができ、**感染前と変わらない日常生活を送ることが可能です。**

また、早期に治療を始めることで、他の人への感染を防ぐこともできます。

万が一の場合でも

HIVは通常の接触で感染することはありません。万が一、針刺し事故が起きた場合の感染率は0.3%（図）で、適切な曝露後予防内服により、事故によるHIV感染リスクをほぼゼロにできます。

<図> 針刺し事故時の感染率の比較



(出典) H23 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策事業報告

HIV感染者・エイズ患者も、皆さんと同じように歳をとり、医療や介護が必要となります。HIV・エイズについて、正しく知ることから始めましょう。

☎ ご相談は、最寄りの福岡県保健福祉（環境）事務所 または
福岡県庁がん感染症疾病対策課 感染症対策係（092-643-3597）へ。